

PRESS RELEASE



国際北陸工芸サミット

2017年9月19日

有限会社エピファニーワークス

ものづくりの国「富山県」の工芸の原点・いま・未来をめぐる。 東京での展示・ワークショップと、富山でのツアープログラムを実施！

東京/2017年9月18日（月・祝）～10月1日（日）@日本橋とやま館

富山/2017年11月17日（金）・18日（土）・19日（日）・22日（水）・23日（木・祝）



有限会社エピファニーワークスが企画を手がける、富山県の工芸の原点・いま・未来をたどるイベントを、東京と富山で開催します。これらは、今秋に富山県で初開催となる「国際北陸工芸サミット」（主催：富山県）の企画として行うもので、東京では、「とやまKOGEIの原点・いま・未来」と題した展示・ワークショップ・トークイベントを2017年9月18日（月・祝）～10月1日（日）に実施し、富山では、「とやま工芸の原点・いま・未来をめぐる旅」と題したツアープログラムを2017年11月17日（金）・18日（土）・19日（日）・22日（水）・23日（木・祝）に実施します。

富山県には、加賀藩の庇護を受け400年続いてきた高岡の金工・漆芸や、平安時代から須恵器の産地であった土地が生み出す越中瀬戸焼、奈良時代の「正倉院文書」にもその名が残る越中和紙など、多くの伝統工芸が今も受け継がれています。また、浄土真宗が根付く風土は、富山に戦時疎開した棟方志功の作風や、彼のもとを訪れた柳宗悦の民藝運動にも影響を与えました。

当企画は、展示、ワークショップ、トークイベント、現地でのツアーなどを通して、まだまだ全国的には知られていない、富山のものづくりの魅力を、その原点や歴史・文化背景、それぞれの作品・作り手やその手わざを通じて、多くの方々に知っていただくことを目指しています。

【東京開催「とやまKOGEIの原点・いま・未来」開催概要】

開催日時：2017年9月18日（月）～10月1日（日）10:30～19:30
 会場：日本橋とやま館（東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル1F）
 お問い合わせ：「とやまKOGEIの原点・いま・未来」運営事務局（株式会社PCO）
 TEL：076-428-9166 FAX：076-428-9156
 トークイベント・ワークショップのお申込み：日本橋とやま館ホームページ
<https://toyamakan.jp/>

<展示>

◆工芸・民藝の原点としての富山

7名の鋳物師から400年続く高岡の金工、置き薬の袋として、富山の売薬さんとともに発展した越中和紙、神社仏閣を支えた井波彫刻、土徳の仏教思想から開花した民藝など、工芸・民藝の原点としての富山を紹介します。この地を選んで疎開した棟方志功と富山の人々との交流、染織工芸家の芹沢銈介など、芸術家たちとの親交から生まれた作品の数々も展示します。

◆世界に通じる技と精神性が息づく「KOGEI」

富山の工芸の「いま」を感じていただけるよう、「U-50国際北陸工芸アワード」二次審査に進んだ作品を含む、富山で制作する気鋭の工芸作家たちの作品を展示。ご縁を感じた作品をお買い求めいただくこともできます。



安藤由香（陶芸作家）



釋永岳（陶芸作家）



村田佳彦（漆芸作家）

<トークイベント>

工芸や民藝を育んだ富山の「土徳」とは。棟方志功や柳宗悦のコレクションでも知られる太田浩史氏（真宗大谷派大福寺住職・日本民藝協会常任理事）と、ジャーナリストとして国内外のデザインに精通する川上典李子氏に、様々な視点から語っていただきます。

- ・日時：9月30日（土）19:30～21:00
- ・登壇者：ゲスト／太田浩史氏×川上典李子氏、モデレーター／林口砂里（エピファニーワークス）
- ・定員・参加費：30名・1,500円（とやまのお酒付）



<ワークショップ>

◆越中和紙の刷り込み体験（桂樹舎）

染め抜き用の型を使い、ワンポイントの模様を和紙に染める刷り込み。今回は、型染めで知られる桂樹舎の刷り込み用の型を用い、はがきや一筆箋に、お好きな模様を刷り込んでいただきます。

- ・日時：2017年9月23日（土・祝）
A 11:00～ B 14:00～（各90分程度）
- ・定員・参加費：各回6名・2,000円



◆香道体験（日本橋千歳✕高岡銅器）

香炉は、高岡銅器の代表的な作品の一つ。花器や仏具などとあわせ、北陸の風土に根付いた信仰心とともに、鋳物の技を磨いてきました。人々の癒しとなってきたこれらの道具を、今一度、現代の暮らしに取り込むために、香道体験はいかがですか。お香の日本橋千歳とのコラボレーション企画です。

- ・日時：9月24日（日）A 13:00～ B 15:00～（予定）（各60分程度）
- ・定員・参加費：各回6名・5,000円

◆井波彫刻バターナイフづくり体験（トモル工房）

井波彫刻の代名詞「欄間」が完成するまでに使い分けるノミは、約200本。ノミのタッチが作品の表情となり、職人の個性となります。体験では、バターナイフの柄に井波彫刻ならではの模様を彫り上げ、職人技の一端に触れていただきます。

- ・日時：9月30日（土） A 11:00～ B 13:00～
C 14:00～ D 15:00～（各30分程度）
- ・定員・参加費：各回6名・2,000円



◆すずがみづくり体験（シマタニ昇龍工房）

自在に形づくることのできる素材「錫」の特性を活かしつつ、鍛金（叩く）の技で日々の使用に耐える強さを実現した錫の皿「すずがみ」。職人が一定のリズムで叩く金槌の跡は、美しい文様となってあらわれます。単純に見える作業だからこそその職人技。体験してこそ身に染みる奥深さです。

- ・日時：10月1日（日）A 12:00～ B 13:00～ C 14:00～ D 15:00～ E 16:00～ F 17:00～
（各10分程度）
- ・定員・参加費：各回3名・3,000円

【富山開催「とやま工芸の原点・いま・未来をめぐる旅」開催概要】

開催日：2017年11月17日（金）、11月18日（土）、11月19日（日）、11月22日（水）、
11月23日（木・祝）

訪問地：富山県の職人・作家の工房・工場、資料館、寺社仏閣等

定員・参加費：各ツアー20名（最少催行人数10名）、2,000円～6,000円（富山県内駅発着）

旅行企画実施・お申込み：富山地鉄サービス株式会社 旅行部 担当：竹原（総合旅行業務取扱
管理者）E-mail takehara@chitetsu-s.co.jp

企画・内容に関するお問合せ：有限会社エピファニーワークス

E-mail info@epiphanyworks.net

特設ホームページ：<https://www.toyama-kogeitour.jp> ※ホームページからお申込みが可能

<趣旨>

富山県の伝統産業や工芸作家の工房・工場と、それを育んできた富山の自然風土・歴史・文化を体感していただく、日帰りのツアープログラムです。8つのテーマに分けたそれぞれのツアーでは、職人・作家との交流、実際の制作体験、その地域ならではの食など、深みのある体験もご用意し、お得な参加費で参加いただけます。



<ツアーテーマ>

- ・高岡の金工と、高岡鋳物発祥の地を訪ねる《11.22（水）》
- ・高岡の漆芸と、“動く美術館”御車山に出会う《11.17（金）》
- ・越中小京都・城端に根付く工芸と、民藝の深い哲学に触れる《11.17（金）》
- ・2つの木工芸（庄川挽物木地・井波彫刻）と棟方志功の住居を訪ねる《11.19（日）》
- ・売薬から発展した工芸と食を知り、北前船で栄えたまちなみを歩く《11.23（木・祝）》
- ・おわらの町・八尾、美しい型染め和紙を訪ね歩く《11.18（土）》
- ・神々が宿る山立山の麓で、越中瀬戸焼と和紙の作り手に出会う《11.22（水）》
- ・室町から続く魚津漆器ほか、魚津・黒部の職人・作家とその作品に触れる《11.19（日）》

★ツアー内容詳細は、特設ホームページ、および別紙パンフレット（PDF）をご参照ください。

<https://www.toyama-kogeitour.jp>

報道関係の方のお問合せ

有限会社エピファニーワークス 担当：荻布（おぎの）、林口 Tel. 0766-54-6210

mobile 090-2838-0098（荻布）、090-9760-4266（林口）

E-mail yuko@epiphanyworks.net（荻布）、sari@epiphanyworks.net（林口）